des spent

(四下张照《近以》

国際表一次ア本一九四八年一月八日四日午の「日日午の「日日午の「日日大日」(日日午の「日日と、「日田日」(日田日)、「京田」(日田日)、「京田」(日本「徳田・英田」(日本「田田・石田」(日本「日本「日本

『吹六岩名絵印サレタモナデアルコトフ語明スル 今上配く供述 有ニョリ宣言サレ同人二 従り会ノ 護前余の、」、o 中尉「テオドアー」。o 、ラムマースしょう。 まは者 一笠 藤、李、子)自孝ン

東京二於子同日

说 数 · T · T

智慧實民立位。十十四十四

N-9015 MON

Dec. 3357-A.

Enliste 12. 20

锁察都 文督錄 三三五七 號

宣 管 供 巡 聲

る。近部秀国ノ委近部等子へ起記術数ロデアリママスニ宣管シタル上取へ次ノ狙リ際造シマス。我國ニテ行ハルル方式ニ従ヒ、別茲配数ノ如ク正

ハ故原田崩男男館ノ造記省トッテ同氏ノ字記ヲ遊ス。ソッテー九三〇年カラー九四〇年マデノ間私

門ニアリトングの

3

ノタノ原田男爵ニを出シタモノデアリマス。 は与弘ガ遊記シタ文質へ 私ガ日本文ニ情 哲シ承 認用用書 「同国教デアルコトラ韶ノマス。 京中レイジタガ、ソレハ 友ガ 茂 目身 人手 ご答 人名 氏 ガラゾノ完成 セラレタ記録 ノ 高原復常 ラー 温り ない国際 協祭部 ノ 割全百「こ、 ひ、 ラムバートー

西國華受盗受官人持必中心与少为心日原田男母八 八分龍銀月 問正少藏尾 寒水不 人名意大

トデ上記ノ通り配証シタモノデアリマス。 今後にしきアリマと、ラレハ記日身(ガ等 塩シタモ西國寺公ノ訂正区ビノ又ハ意見ハ任上ゲノ既ニ留

ほし夏の三部コの電子可谓士人、同様子信町ナス,

(以下交页へ留り)

AFFIDAVIT

Having first duly sworn on oath as on the attached sheet, in accordance with the procedure prevailing in my country, I hereby depose as follows:

I. Yasuko KONOYE, wife of Hidemero KONOYE, am a teacher of shorthand, and during the period of 1930 to 1940, I, as his stenographer, took in shorthand the notes of the late Baron Kumao HARADA.

I have been shown by Mr. J. G. Lambert, IPS Investigator, a photostatic copy of this finished transcription which I recognize as the memoirs of Beron HARADA written by me in my own hendwriting.

These notes taken by me in shorthand vere transcribed in Japanese by me and given to Baron HARAD: for approval.

Beron H.RADA took the transcription to Prince Kimmochi SAIONJI for corrections and suggestions.

Prince SAIONJI's corrections end/or suggestions were incorporated in the completed form which I wrote in my own handwriting and which is identified as above.

OATH

In accordance with my conscience I swear to tell the whole truth, withholding nothing and adding nothing.

(seal)

On this 8th day of January, 1948 at Tokyo

(Japanese Signature)

Deponent: Yasuko KONOYE

I. Theodore Q. Lemmers, 1st Lt., QMC, hereby certify that the above statement was sworn to by the deponent, who affixed her signature and seal thereto in the presence of this witness.

Witness: /si/Pheodoi Lamters.

THEODER T. LAMBERS TO ROOM 361

000x. 3357-13

. 富容快逝春

我国ニ行へレル方式二從ヒ、別紙記憶ノ如夕富 密シタル上、私へ次ノ記り除述致シャスで 每週一周乃至二周原田禄另另曾(赵、还信歌子 八元、三章商文令記傳元日日記録/門四國寺、原田何、 原風無人人回動豆熟書即ラセアシをっても、回頭と問 ※、原田男公へ大学存款者テアリマック、仕事ラナ 八天でしたない語言はイテハ木谷首領アアリアツタガ、 為自己人任事の祖郎立て九部一郎付きへの中部を必う 古本本人とないなるはずそアヨマキンデッタ。 しゅ 明念字填入祖尚朱既當路ヨリ三、四ヶ月門原田县祭 · 本病 南 西 下 ツ 名 コ と 、 法 三 太 戸 が 原 田 男 む が 仕 事 > 又依存义者和不了本戶幸二人以過戶國沙戶於武人 法文会遇無量強べるスと即々四十四十四十日子コンリス :《朝前我民长年前将一日日日十一九三七年至月三十二 七日周期次数節級問節不平民日午日日午日日於原中小鄉 - 桑々唯一同二月二十三日二記改サレテ居りマス。 京才的完造人原用人对正月三日四八元教武師ツノ田 编部《奥黎《行义产居》《天郎道八、 五百十四人图 (以下次层)

Enlist No.

(型压强压)

八、東京卜彼/別 ケ月と、残りノ全期間数 症~10日子交替別難入問ヲ往復シ、人々ヲ訪問シテ賠 □像 食馬 1 雪川 町川 上田 中日 下ウシッド あるりは。 コノ網體及へ働人如何ナル朔間」於ケル病気中七彼 八酸記録子替半取り七九日十万 私べ彼人病室又八倍間デット 開彼人電話及已訪客三位り子情報,克樂致少々 少年 。如何十心場合二七水戶又八原田以外 , 著 岁 該 記録、如何ナル部介ラ七行キ取りセタコトハナリマ セシャ 晩年 原田 ガポンヤ リシテキタ トイン 木戸 ノ 嬢 建三於イデス、若シソレガ西國寺ノ死(彼)原田ノ レ以後該記録ノむ+取りヲ中止シャシタッント 彼ノ死ノ間ノ五ケ年間ヲ無スセノテナリマシタラ、 私へメッタニ彼二會ヒマセンテシタカラ、意見り造 人が ひゃくま キ ト カ ソ 。

唐世十年长福日帝昭日诗四世纪《典、游布教》 ボタルライ、代 (以下水質の減り) 数四日生くサガル民日請の、空景語のと答や例

推写真照明

公が、それと Dac. 3357 - 8.

D.Z.

der 3357 M

再閉った子も、智能的ニナ分ナ話力ヲ持ッチ居り蔵メマシタ。彼へ、私ノ役ヲ知シテチ々即何ナルがにこ役等ノ語シタコトヲヨク幻ッテキタコトラキルカノ後こ、ボンヤリトシテ見へタコトハ大常まれま記シテキル時、マルテ他ノコトチモ湾(大宮ガ常ニ、ソノ健脈欲避ノ即何ニ洵ラズ、降トシテ付け、強力整配訟ヲ書ナ級ケテキタ即

ま事うする配信数シテ居りゃえ。書き取うせる時、手ニシタ書切力ラ副・上ゲテキル日ノ記事ニ宏イテへ、私へ、原因ガソレラ私っせドッチ訟別記號す付サレタ、一九四○年八月十月條茲告ニ對スル反對別問ノ院、安廷語三六八

(禁证)

ド、樹根製を割えらりゃかなのもに、

练 2 域 与 1 综 7 、 医 章 4 说 员 5 人 人 医 章 40 季 有

ズ、全真實ヲ述ベルコトラ節ヒマスリなへ取、良心二從ヒ、何事そ他能セズ、何事そ附加セ

(総品)

快速者 近 휆 恭 子乀署名乀一九四八年一月十三日 於東京

朝春殿中有在傷、掛けらの治了只有品如何此下

京子署名、孫印セラレタモノデアルコトヲ濫明スル。八供述者ニ仮ツテ宣賞セラレ、同人ニ仮り 余ノ面前ニ余、歩兵大尉のーナーの卫のホワイト」へと記し供述

福福工具中面同日本政策。 女子 3日 日本 2 日 日

たと、 これ、 一座 大 片 「ターナー 0 の で カイト」

東京日本で、東京は「、大大の大学の一年間に大型

母子中とはり、たりかのも、ことはくかロッくだけ

一種おお、思うか、する、ルイトランロットののくと

其物水、22.0四至近12.00四层水水等。 5.4

, 直子を集結のポラシ州、河口やくショルカツの日

1000 3957 -AS